

学校目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」



まいいた

平成29年度

5月号

平成29年4月28日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>

元気なあいさつができる蒔田っ子

校長 太田 正寿

新学期がスタートして、早1ヶ月が経ちました。1年生は「1年生を迎える会」に参加し、元気なかわいい歌声を披露し、蒔田小学校の仲間入りを果たしました。また、おいしい給食もしっかり食べて、外遊びもできるようになり、活動がどんどん広がっています。

日々成長していく姿を見るたびに、「もう立派な小学生だな」と思います。

さて、4月5日本校に着任したとき、子どもたちに「蒔田っ子のよいところを、たくさん見つけていきます。」とお話をしました。この1か月間でまず一つ見つけたことは、元気なあいさつができる子どもたちがたくさんいることです。

私が日頃仕事を行う上で心がけていることの一つに、教職員や子どもたち、保護者の方々に対して「声をしっかり出して対応しよう」ということがあります。当たり前のことですがあいさつも含めて、声を出すことで相手とのコミュニケーションが図れると同時に、自分自身のエネルギーを活性化する大きな要因になると考えているからです。

本校でも、朝、門に立っていると蒔田小の子どもたちは、いつも自然体で「おはようございます」とあいさつができます。とても気持ちがいいです。あいさつについては登校中だけでなく、学校のあらゆる場面で気持ちよく行っている姿を多々見ることができます。大人の社会でもそうだと思いますが、あいさつが人間関係構築の第一歩になると考えています。



生物学者のスワンソンという人は、「動物が生きていくために欠かすことのできないものに、空気・水・食べ物の3つがあるが、人間にはこの他にもう一つ、『コミュニケーション』が必要だ。」と言っています。そのコミュニケーションで、最も大切で基本となるものが「あいさつ」です。

人と人のコミュニケーションは、あいさつから始まると言っても過言ではありません。

本校の年間生活目標は、「あいさつをしよう」です。各学年・各学級、具体目標を立てて取り組み、あいさつすることの大切さを繰り返し指導しながら、よき習慣が身につくよう、全教職員で取り組んでいきたいと思っています。

今、規範意識の低下が叫ばれている中、しつけの基本としてのあいさつを見直し、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいくことが大切だと考えています。まずは大人が率先して、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「お疲れ様です」等のあいさつを励行し、気持ちのよいあいさつが飛び交う、学校・家庭・地域でありたいと願っています。